

第2510地区 第11グループ



2005~2006

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2005~06年度
国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕



2005~06年度
国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・
ステンハマー

増田 定雄 会長 テーマ 温故知新 — ロータリーに愛を —



12月14日卓話 坂本 修康 氏

《第2040回例会》 第23号 12月21日(水)

本日のプログラム

夜間例会「クリスマス家族会」

★会長 増田 定雄 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

たがってロータリアンは社会奉仕行事に参加することによって、社会のニーズを知り、それを充足する途を考え、実施にあたっての諸問題を勉強して、はじめて奉仕の喜びを体験することができるのである。要はクラブの奉仕は練習であって、真の奉仕の本番は個人が行うべきものである。

以上の諸点でわかるように、ロータリーで社会奉仕をしているから、すでにロータリアンとして責任は済んでいる、という考えは全く間違っていることで、個人の奉仕は別に心がけなければならないのであります。

ロータリーには「意義ある業績賞」という制度がある。この第一号賞の事蹟をのべることは、ロータリーの社会奉仕の本質を知るために参考になると思います。

アメリカ・ミシガン州に小クラブが誕生した。小さな町なので会員数も20名そこそこ、勿論、資金も乏しい。しかも経験とある筈がないので、奉仕、奉仕といったって何をやってよいか判らない。そこで思いついたのが付近を流れる川の清掃である。この川はロータリアン達が子供の頃は水が綺麗で、メダカすくいや水遊びが楽しめた。ところが、今日は汚水が悪臭を放ち、川岸にはいっぱいゴミが流れついている。町民は勿論なんとかしなければと、町当局や州にまで陳情したが、一向にラチが明かず、汚濁は進むばかりであった。結局、人手にばかり頼っても事が進まないから、町民有志が自分たち自身でやらなければならぬと考え始めた。その矢先にロータリーができたのである。そこで先ずロータリアン全員と、その家族が総動員で、これにかかることになった。みんなゴム靴にスコップをかついで川岸に集った。二日間汗水たらして、なれぬ労働をやったが、成果はみるべきもなかった。しかし、その反響は大きかった。

次の清掃日には機械シャベルや小型クレーンが出動してきた。この町内の土建業者がボランティアで参加したのである。このことが新聞に報道されると、さすがに町当局も見過ごす訳にはゆかず、町の事業として、これを続行することとなった。遂に州もこれに力を貸して、数ヶ月のうちに十年の懸案が解決され、次第に魚も泳ぐようになってきた。これは数年前のザ・ロータリアン誌に出ていた話です。

これこそは行政が果し得なかった事業をロータリーの先鞭によって、行政を動かして事を遂行できたのである。一方、新クラブのロータリアン達は、ロータリーの威力を知ると同時に奉仕の喜びを満喫し、ロータリアンとしての喜びを体験したのである。これでは「意義ある業績賞」の第一であることに、誰しも異存のない筈である。

以上の譬話等によって、ロータリーの社会奉仕の在り方のアウトラインをお掴みになれたと思います。

(会報担当者：阿部 誠太 委員長)

いつもベストのおいしい水。
レンタル浄水器
2週間無料体験実施中
ダスキン「おいしい水ピュアII」。



ダスキン朋友

〒040-0077 函館市吉川町5-33
☎0138-41-1199

お気軽にお電話ください
24時間以内にお届けします。



(広告掲載：増山 正 幹事)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎ 11月30日出席報告

会 員	33名	出席率対象会員	33名
		出席規定免除会員	2名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	20名	当日欠席	13名
他クラブ出席	6名	出席合計	26名
出席率	83.87%		

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

<p>次回・12月28日 プログラム</p>	<p>自主休会</p>	<p>1月4日 「年男挨拶」 茂木 政雄 会員 渡部 二康 会員</p>
--	--------------------	---

12月14日の記録

◎司 会 増田 定雄 会長

◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ビジター 函館R.C.中山浩一君、函館五稜郭R.C.中原哲信君、函館亀田R.C.太田 等 君

◎会長報告 増田 定雄 会長

- 今日は忠臣蔵の討ち入りの日です。歴史を読み返すと面白い話が出て来ます。
- 9日に理事会がありました。理事会の報告をします。

議題 1. クリスマス家族会の予算案について

予算案通りで承認。親睦活動委員会に一任する。

2. 1月から2月の行事予定について

①新年恒例会(1月11日)について

一乃松で午後6時30分より開催、会費は前年度同様とする。

②職場訪問 節分例会(2月1日)亀田八幡宮

職業奉仕委員会の予算で実施する。

③函館北R.C. 七飯R.C.との合同例会について

2月15日ホテルオークランドで午後6時からボーリング その後、親睦会を開催する。

3. 名誉会員への会員名簿贈呈について

要望があった飯田名誉会員へ名簿を贈呈する。

4. ロータリー財団・クラブの認証ポイント使用について

長谷川会員が500ドル寄付した分にクラブのポイントを加えて、1000ドルで手続きする。

5. その他

①クリスマス家族会への名誉会員の招待について

招待状を送ることとする。

②事務職員2名へ謝礼・プレゼント(クリスマス家族会で)

特別なことはしない。会員と一緒にゲームに参加してもらう。

③入院中の千葉会員、青山会員の出席免除について

出席率規定免除会員とする。

④インターアクトクラブについて

活動報告を提出していただく。大谷高校関係者にロータリー入会の要請中

◎委員会報告

●会長エレクト

SAAに渡部会員が選任されました。

●次年度幹事 山下 清司 会員

台北クラブ25周年式典に出席の積み立てのご案内です。

親睦委員会 茂木 政雄 委員長

クリスマス家族会来週です。3,000円相当のギフト御用意願います。

◎幹事報告 増山 正 幹事

○和歌山城南R.C.千葉港R.C.より会報が届いておりますので回覧いたします。

○当クラブ12月28日は自主休会に変更です。1月4日は通常例会、11日は一乃松で新年会です。

○函館東R.C.27日自主休会、函館セントラルR.C.27日移動例会、函館R.C.29日自主休会、函館五稜郭R.C.30日自主休会に変更です。

○インターアクト年次大会の報告書が届いております。

◎親睦活動委員会 茂木 政雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

函館R.C.坂本修康氏……本日お話しをさせていただきます。

増田 会長……ロータリーに愛を。坂本地区委員をお迎えして。

小笠原会員…… ”

森 会員……坂本地区委員を歓迎して。

北村 会員…… ”

今井 会員……寒くなりました。

柴崎 会員……遅くなりました。

◎卓話 「社会奉仕について」 R I第2510地区社会奉仕委員会 委員 坂本 修康 氏

一般社会ではロータリーは奉仕団体とみられています。従って、その奉仕活動は衆目を集め、その評価、批判がそのままロータリーの価値判断に連なっていくます。ところが、ロータリーの要求している社会奉仕と世間が期待しているそれとは必ずしも一致していないので、社会からも、ロータリーの内側からも論議が絶えません。

いま、ロータリーの社会奉仕に関する指針と、それを実行する組織大勢を検討してみると幾多の矛盾がでてきて、中々動きがとれなくなるのが実情のようであります。しかし、これを仔細に分析してみると、おおむね次の二つに集約されると思います。

(1) 現時点に於ける、地域社会の実情を周到に検討し、真にそのニーズを充するものでなければならぬ。

(2) ロータリークラブの現実の力量にふさわしいプロジェクトであって、しかも全会員、少なくとも大多数の会員が参加できるもの、ということになるようです。

(1)を考えると対象は広闊かつ無限にある。しかし、(2)をふまえることになると、極めて限られた範囲となってしまう。と云って、ロータリアンたるもの、これをおさなりにやり過ごすことはできないので、もう少し突っ込んで掘り下げてみましょう。

先ず(1)に関して、福祉にしろ、教育にしろ、はたまた都市安全にしても、元来は行政が行うべきものであります。しかし、政治というものは、最大多数の幸福を目標として行われるものであるから、いつでも、何をしても、大きな落ちこぼれがあります。仕事は一部の未完成を残したままに次の段階に進んでしまいます。乗り遅れた人々は、不安と不満にみちた不幸の境涯にとりのこされて行きます。

ロータリーは政治や行政という無情なブルドーザーによって切り開かれた荒地を、温かい心のこもった手で整地をするものではなかろうか。

ある先輩はロータリアンは政治の「落穂拾い」と、やや自嘲をこめていわれたことがあります。落穂拾いは大きな政治の流れからみればとるにたらぬことのようにあるが、ここに人間の心の温かさがあり、人間性が発見されます。

落穂拾いだけでは確かにわびしい。しかし、小さな力でも、大きな力を発動させる起爆材としての働きを発揮できるのが、また、ロータリーでもあります。

ロータリーは人材は豊富である。地域社会の各職業分野の代表者の集りであるから、ニーズに関する情報には事欠かさぬ。しかし、それを解決するだけの組織もないし、力量もない。だが、指導力と信用は充分にあります。

そこでクラブ自身では事業を一手には引き受けられぬが、パイオニアとしてイニシアティブをとることはできる。一見困難視される事業の起爆材となることはできます。

中々持ち上がらなかった市民会館の建設が、ロータリーの寄付集めを口火とし、この運動が全市に拡がり、遂に行政を動かして会館を完成させた例があります。また、ロータリアンの拠金で始まった保育施設が、市の施設に移管されて大成した例もあります。

このようにロータリーの社会奉仕は、政治や行政と決して競合するものではない。また、競合してはならぬのである。されば手続要覧では、社会奉仕の指針として、行政や専門諸団体との調和について多くのページをさいています。すなわち、ロータリーの社会奉仕は時に政治、行政の尖兵となり、時には、殿軍をつとめ、その完成を助ける。ロータリーこそは、住みよい社会造りに不可欠の脇役であり、しかも如何なる主役も代行できぬ性格俳優なのであります。

次に第(2)について論じてみましょう。

先ず社会奉仕を行うためのクラブ内の組織の点です。

ロータリーの役務は一ケ年で交代するのが原則であり、社会奉仕委員長も例外ではない。しかし、もし効率的に事を行おうとすれば、適材を選んで、数年間留任して実行に当たってもらう必要があります。現在の体勢では大きなプロジェクトには取り組みぬし、また、成功もおぼつかない。しかも、手続要覧ではなるべく年度内、あるいは短期間に完了するもので、財政に無理のないものを選べと訓えています。その上、他クラブ、他団体との協同作業は慎重を期せよ、と暗に不賛成の意を表しています。

ここではますます手も足も出ない。しかも大多数の会員の参加ができる事業となると「船頭多くして船山に登る」ことになりかねません。では、何故にこんなムツカしい条件を並べて足を引っ張るようなことをいうのであろうか。それは有名な決議第23～34の末尾の数行がその理由を物語っています。

「ロータリークラブの集団行動よりも、ロータリアンの個人的活動の方が、ロータリーの精神に一層合致しているし、かつ、社会的指導力も大きい。よって、ロータリークラブの社会奉仕活動はロータリアンという点で訓練し実習させるためのものと考えべきである」と明記してあります。これはロータリークラブの社会奉仕そのものの成果よりも、むしろ会員の教育に重点を置いている、と解すべきです。

委員長の一年交代は大事業の遂行には不向きであっても、多くの人々に社会奉仕の責任者としての経験を積んでもらうには適しています。事業の年度内完成ということは、次々の社会奉仕委員長に常に新しいニーズを発見し、その対応策を勉強してもらうのがネライであろう。継続事業にすれば仕事はやりやすい。しかし、新しい抱負を以て委員に就任した人に対しては、充分にその能力を発揮させる所以ではない。右へ揃えはおおむね「易きにつく」ことで個人の能力開発を妨げる。共同作業を喜ばぬも同様の理由による。しかし、これには次のような含みも持っています。同一市内にある複数のクラブが合同して事を行う方が一見合理的にみえる。しかし、ロータリークラブでは新旧、大小に拘らず、各々が全くオーソリティー、すなわち独自性をもっている。その受け持ち地域のニーズが必ずしも同一ではない筈である。しかも、合同でやる場合には必ずどちらかが優位に立って、他クラブの独立性をそこう惧れがある。また、他の奉仕クラブとの協同作業には一層大きな問題が含まれている。すなわち同じ事業を行ってもその基本的な目的に差があるからである。もし、単に大事業を行うことを目的としている団体と合同事業を行えば、ロータリーの教育性は失われてしまうかもしれません。

ロータリーの社会奉仕には、なるべく多数の会員の参加が必要とされている。先にも一寸触れたが、小人数でやった方が仕事はやりやすい。この事はクラブの社会奉仕が委員長の一人舞台で行われ勝ちとなり、あるいは社会奉仕部門だけの行事に終わるような結果がままできてくる。これでは関係者以外には何も教育にも練習にもなりません。しばしばいわれるように「ロータリーは奉仕をする団体ではなく、奉仕を志す人々の集り」であるのである。し